

高齢者事故を減らす には

上田染谷丘高等学校 1年 城子ひなた

この課題に関わるSDGs番号



2030年までに、誰も取り残さない持続可能なまちづくりを進める

テーマ設定の理由

- ・ 高齢者の運転事故が増えていて免許返納について調べたいと思ったから
- ・ 都会の方では電車がたくさんあったりとか駅が近かったりとか移動が楽だが、田舎では車がないのは厳しいと思うから

現状1

- ・ 75歳以上ドライバーの免許返納率は4,48%
- ・ コロナ禍もあり、公共交通機関の利用率が下がり免許返納率も下がっている

図表1 免許返納数、返納率の推移



(注1) 図表の数字は返納率(%)、横軸各年の()内は返納総数(万件)

(資料) 警察庁「運転免許統計」(各年)

現状2

- ・ 高齢者ドライバーの事故は全体の事故の約16%
- ・ 75歳以上の免許人口10万人当たりの死亡事故件数は75歳未満の約2倍

75歳以上の運転者による死亡事故件数と割合 ※第1当事者が原付以上の死亡事故を計上している。



課題

- ・ 車のアシスト機能やサポカーを活用する人が少ない
- ・ 駅が遠く、電車やバスの本数が少ないため生活するためには免許の返納をしない人が多い

サポカーとは

目の前の歩行者や障害物などに感知し、ドライバーに警告したり自動でブレーキを作動させることができる車

解決策

- ・ 車にアシスト機能やサポカーをつけるためには補助金制度があることを知ってもらう
 - ・ 免許返納をした人にはバスや電車などを低価格で乗れる制度があること知ってもらう
- 数期間, 車を使わない生活を体験してみる

10代からの提言

- ・ 一定の年齢を過ぎた人全員の車にはアシスト機能などを付けるよう義務づける
- ・ 自分の祖父母などに健康診断などを勧める
- ・ 自動運転の技術をもっと広め、低価格で購入できるようにする

感想

高齢者事故だけでなくすべての事故が減ってほしいと思った。徒歩でいけるくらい近くに友達の家や趣味が楽しめる場所などを作っておくと生きがいになり、認知症予防などにもつながる。